プレスリリース

2026 年 11 月 27 日

報道関係各位

ニ ッ タ 株 式 会 社
代表取締役社長 北村精一

ニッタ株式会社、産総研とバイオマス 100%の木質成形体を共同開発

～「BEYOND SDGs エコプロ 2026」で試作品を展示、共創パートナーを募集～

ニッタ株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長 北村精一、以下「ニッタ」）と国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下「産総研」）は、地域の森林資源の循環利用を目指し、樹脂原料を使用しないバイオマス 100%の木質成形体を共同開発しました。

このたび、ニッタは、2026 年 12 月 2 日（水）から 4 日（金）まで東京ビッグサイトで開催される総合イベント「BEYOND SDGs エコプロ 2026」に出展し、その試作品を展示します。会場では、試作品を通じて木質成形体の可能性を紹介するとともに、用途開発ならびに回収・再資源化の仕組みづくりをともに進める共創パートナーを募集します。



バイオマス 100%の木質成形体（試作品）

◆研究開発の背景

明治の創業期より、未利用資源を価値へ変えてきたニッタは、革ベルト製造に欠かせないタンニンを求めて進出した北海道・十勝で、100 年以上にわたり森林経営を続けています。森とものづくりの原点を最新技術で進化させ、木を余さず素材や製品へ変え、再び資源へ還す研究開発に取り組んでいます。今回開発した「バイオマス 100%木質成形体」は、樹脂との複合材料ではなく、バイオマス由来原料のみで形づくる成形体です。

◆「バイオマス 100%木質成形体」の概要

・バイオマス由来原料のみで構成

木質などのバイオマス由来原料を用い、樹脂原料を一切使用しない成形品です。

・木材をさまざまな形状へ

独自の素材化技術（産総研との共願特許出願中）により、粉砕した木材をプレス成形し、立体形状への加工が可能です。

・回収後の再成形が可能

バイオマス 100%素材であるため、回収後の再成形が可能です。また、高い生分解性を備えており、キノコ菌床への利用も可能です。

◆共同研究体制

・ニッタ株式会社　テクニカルセンター開発研究グループ

・国立研究開発法人産業技術総合研究所　マルチマテリアル研究部門

研究員　暮井　達己

研究グループ長　関 雅子

総括研究主幹　三木 恒久

◆出展概要

イベント名　：BEYOND SDGs エコプロ 2026
会期　：2026 年 12 月 2 日(水)～2026 年 12 月 4 日(金)
会場　：東京ビッグサイト東ホール
小間番号　：2-030
主催者サイト：エコプロ EARTH| 環境・脱炭素の先端技術展

セミナー　：森と、つくる。～木を余さず使う、リジェネラティブ社会への挑戦～
日時　：2026 年 12 月 2 日(水) 11:50～12:20
会場　：東京ビッグサイト 東 3 ホール内「エコプロ小ステージ」
URL　：森と、つくる。～木を余さず使う、リジェネラティブ社会への挑戦～

◆本件お問い合わせ

ニッタ株式会社　テクニカルセンター開発研究グループ
E-mail：nitta_tc_rd@nitta.co.jp

以上

広報に関するお問い合わせ：
ニッタ株式会社　経営戦略室　TEL：06-6563-1228

※プレスリリースの内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。